

## 令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立瑞穂農芸学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長（事務局長）、主任教諭（教務主任） 計2名
- (3) 内部委員の構成  
経営企画室長、各分掌主任（教務主任、生活指導主任、進路指導主任、学年主任、農場主任）計6名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
子ども家庭支援センター長、近隣中学校長、近隣小学校長、警察署生活安全課、同窓会長、PTA 会長、PTA 副会長 計7名

### 2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和7年6月20日（金）内部委員6名、協議委員6名  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出  
令和6年度学校経営報告並びに令和7年度学校経営計画について  
本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和7年11月21日（金）内部委員6名、協議委員5名  
これまでの教育活動に関する報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議  
学校評価アンケート案の検討
  - 第3回 令和8年2月5日（木）内部委員6名、協議委員4名  
令和7年度学校経営報告について  
これまでの教育活動に関する報告  
学校評価アンケートの報告及び学校運営に関する提言、協議  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議  
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他  
未実施

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・12月 全校生徒 対象：35人 回収：35人 回収率：100%
  - ・12月 保護者全員 対象：35人 回収：29人 回収率：83%
  - ・12月 教職員 対象：13人 回収：13人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目  
学校生活、学習指導、進路指導、経営企画室、施設設備、給食、読書状況、学校HPやX（旧 TWITTER）の閲覧回数等について
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
  - ・学校生活については、生徒は71%、保護者は76%、教職員は100%の満足度を得ている。
  - ・授業については、生徒は77%、保護者は97%、教職員は100%の満足度を得ている。
  - ・進路指導については、生徒は69%、保護者は76%、教職員は92%の満足度を得ている。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
  - ・「生徒による授業評価」を実施することで、生徒の意見をしっかり把握し、あわせて教科担当が指導計画や評価方法について丁寧に説明することが重要である。
  - ・学校評価の結果、本校は全体として落ち着いた学校生活が送れている一方で、生徒・保護者ともに進路指導への満足度が低い状況が見られる。来年度以降は、この満足度を高めるための取り組みが求められる。
  - ・今年度のアンケートでは、保護者の回答数が昨年度より増加した。また、学校への信頼や授業のわかりやすさについて、多くの保護者が肯定的に評価している。

### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の授業に関するアンケート結果から、授業改善に向けた校内研修の継続的な実施・充実が引き続き求められていることが確認できた。
  - ・今年度は、昨年度以上に保護者の皆様から学校への信頼を高く評価していただいた。次年度以降も「開かれた学校」を目指し、保護者の皆様との協力関係を一層強化しながら、より良い学校づくりに努めていきたい。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
- ・生徒アンケートの結果から、授業改善に向けた校内研修のさらなる充実と継続的实施が必要であることが明らかとなった。
  - ・保護者からの学校に対する信頼度は向上しているものの、「開かれた学校」として保護者との連携を一層強化していく必要があることが確認された。
  - ・協議委員から寄せられた意見を通じて、外部から見た生徒の姿や学校の現状をよりの確に把握し、それを学校運営に反映させていく仕組みの強化が求められていることが明らかとなった。
- 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）
- (1) 学校運営
- ・生徒・保護者に対して、機会を捉えて学校の教育方針を丁寧に説明し、理解を得ていく必要がある。
  - ・生活指導については、これまで以上に保護者との連携を強化し、協力体制をより確かなものにしていくことが求められる。
  - ・入学した生徒が誇りを持ち、充実感を得ながら学校生活を送ることができるよう、魅力ある学校づくりを一層推進していく必要がある。
- (2) 学習指導
- ・小中学校や地域との連携について、連携方法も含めて可能性を探りながら、瑞穂農芸高校として生徒を育てるランドデザインをさらに深めていく必要がある。
  - ・生徒一人ひとりが第一志望の進路実現（合格）を達成できるよう、学力向上の取組を一層強化していく。
  - ・国語・数学・英語の少人数授業を実施し、生徒の進路目標に応じたきめ細かな学習指導をより一層充実させる。
- (3) 特別活動
- ・生徒会活動の活性化を図り、生徒同士の協調性や主体性を育成していく。
  - ・瑞高祭をはじめとする各種学校行事を通じて、生徒の成長と学校への帰属意識を高める。
  - ・部活動の活性化を推進し、生徒が心身ともに成長できる機会を充実させる。
- (4) 生活指導
- ・教員の指導力を高め、生徒一人一人に寄り添った教育を実践するとともに、いじめや体罰のない、公正さが行き届く学校づくりを推進する。
  - ・生活指導の重要性を教員間で共有し、教職員全員が組織的に生活指導に取り組む体制を整備する。
  - ・自転車マナーの改善やヘルメット着用の徹底など、交通安全教育を一層強化し、生徒の安全意識の向上を図る。
- (5) 進路指導
- ・進路指導部の組織的な運営体制を整え、教員が連携して生徒の進路実現を支援できる仕組みを強化する。
  - ・面接指導や小論文指導、進路講演会の実施、上級学校訪問への参加など、多様な機会を通じて、生徒の進路に対する意欲・動機づけを高める。
  - ・インターンシップの活用を進め、キャリア教育を一層充実させることで、生徒が社会や職業への理解を深められるよう支援する。
- (6) 健康・安全
- ・生活指導部を中心に、日常的に生徒の心身の健康維持・増進に取り組み、学校全体で支援体制を強化する。
  - ・スクールカウンセラーを積極的に活用し、1年生だけでなく在籍するすべての生徒を対象にカウンセリングを実施して、心のケアを充実させる。
- 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合
- 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果
- 【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回
- 8 その他
- ・アンケートの回収率については、Classi と Forms を効果的に活用したことで向上したと分析できる。